

# 環境活動レポート

(対象期間:平成27年9月～平成28年8月)



作成年月日:平成29年3月1日  
有限会社 トーシン

# 目次

I. 組織の概要	…	P 1
II. 環境方針	…	P 2
III. 実施体制	…	P 3
IV. 環境目標	…	P 4
V. 環境活動計画と評価及び次年度の取組内容	…	P 5
VI. 環境目標の実績	…	P 7
VII. 環境関連法規の遵守状況	…	P 8
VIII. 経営者による全体評価と見直し結果	…	P 9

## 【その他添付資料】

- ・ 環境上の緊急対策
- ・ 環境コミュニケーション受付表
- ・ 問題の是正及び予防処置

# I 組織の概要

## 1. 事業所名及び代表者名

有限会社 トーシン

代表取締役社長 遠藤 真弘

## 2. 所在地

名称	所在地	延床面積	備考
本社工場	静岡県沼津市大諏訪660-5	360㎡	今回の認証対象
東工場	静岡県沼津市大諏訪665	150㎡	今回の認証対象外

## 3. 環境管理責任者、事務担当者の氏名及び連絡先

環境管理責任者 遠藤 優輝

TEL 055-922-8887

事務担当者 遠藤 優輝

E-mail y-endo@toshin. Inc. Com

## 4. 事業活動

送電・変電設備の部品製作

## 5. 事業規模

項目	平成26年8月31日現在
売上高	全社 1億2,000万円
従業員数	全社 11名

## 6. 事業年度

9月1日～翌年8月31日

## 7. 認証・登録の対象範囲

活動; 全事業活動

対象組織; 本社工場

## II 環境方針

### 株式会社 静岡製作所 環境方針

#### [環境理念]

有限会社トーシンは、鉄・非鉄金属の加工を通じ、自然豊かなこの地球環境を守るために、常に環境を意識し・配慮した事業活動に努め、環境と調和した経済発展に寄与する企業を目指します。

#### [基本方針]

当社は環境理念に基づき、以下の基本方針を定め、継続的な環境経営を展開します。

1. 二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、総排水量等の削減に努めます
  - 1) 電気、軽油、ガソリン等の使用量削減に努めます
  - 2) 3R活動の展開による廃棄物の削減に努めます
  - 3) 節水活動による水使用量の削減に努めます
  - 4) 化学物質の適正使用に努めます
2. 環境関連法規制等の遵守  
環境関連法規制を遵守します
3. 環境に配慮した製造活動
  - 1) 事務用品や原材料等のグリーン購入に努めます
  - 2) 環境に配慮した製品作りを推進します
4. 環境コミュニケーションの実施
  - 1) 社外に環境活動レポートを公開し、利害関係者のみならず社会とのより良いコミュニケーションを図って行きます
  - 2) 社内においては、全従業員に環境方針を周知し、全社員参画による取組を目指します

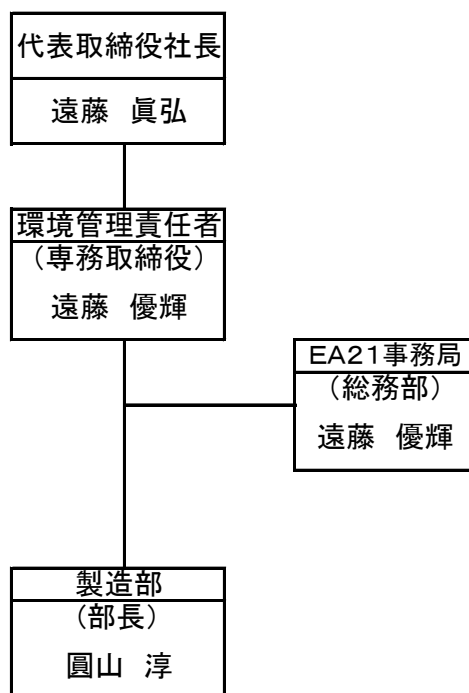
制定年月日 平成27年 9月 1日(初版)

有限会社 トーシン

代表取締役社長 遠藤 眞弘 印

## Ⅲ 実施体制

平成25年9月1日 現在



### <関係者の権限と役割>

#### 社長

- ①環境経営全般に関する責任と権限
- ②環境経営に必要な資源の準備
- ③環境経営システム全体の評価と見直し
- ④環境管理責任者の任命

#### 環境管理責任者

- ①環境経営システム全般の運用・管理
- ②環境目標及び環境活動計画の作成
- ③取組状況の社長への報告
- ④環境活動レポートの作成

#### EA21事務局

- ①環境負荷データ等の集計
- ②環境目標・環境活動計画の進行管理
- ③「環境負荷」及び「環境への取組」の自己チェックの実施
- ④環境管理責任者へ取組状況の報告
- ⑤法規制の遵守状況チェック
- ⑥文書・記録の管理

#### 各部門長

- ①部門の環境活動計画の実施
- ②部門データの集計
- ③部門の問題点把握と是正対策の実施
- ④部門取組状況の事務局への報告
- ⑤部門の従業員教育

#### その他の従業員

- ①自分の役割を守りエコアクション21活動を推進する

## IV 環境目標

### 短期・中長期環境目標

環境目標は、平成26年度を基準年とした基準年比とする。

項目	単位	H26年度 (基準年)	H27年度	H28年度	H29年度	
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	53,281	-2%	-4%	-5%	
			52,215	51,150	50,617	
	電力	kWh	72,322	-2%	-4%	-5%
				70,876	69,429	68,706
	ガソリン	L	4,102	-2%	-4%	-5%
				4,020	3,938	3,897
	軽油	L	1,178	-2%	-4%	-5%
			1,154	1,131	1,119	
灯油	L	775	-5%	-7%	-10%	
			736	721	698	
LPガス	kg	66	-1%	-3%	-5%	
			65	64	63	
廃棄物排出量	産業廃棄物	t	4.7	-5%	-7%	-10%
				4.5	4.4	4.2
	一般廃棄物	kg	0.3	現状把握	-5%	-7%
				-	-	
水使用量	m <sup>3</sup>	208	-2%	-4%	-5%	
			204	200	198	
グリーン購入（事務用品）	%	—	現状把握	前年度プラス10%	前年度プラス10%	
化学物質使用量	—	—	使用なし			
顧客からのクレーム	件	5	4	3	3	

(注)

- 1) 「購入電力」の二酸化炭素排出係数は、東京電力(H23年度)の「0.530kg-CO<sub>2</sub>/kWh」を使用した。
- 2) 「グリーン購入」は過去実績がないため、平成27年度に現状把握を行い、28年度から数値目標を設定する。
- 3) 「化学物質使用量」は、使用なしのため目標を設定しない。

# V 環境活動計画と評価及び次年度の取組内容

(取組期間:平成27年9月～8月)

環境活動項目(平成25年度)		責任者	評価	コメント	今後(次年度)の取組内容
二酸化炭素の削減	エコ・ドライブ	圓山	○	ほぼ計画通りに実施できた	継続
			○		
			○		
			○		
			○		
	運転管理等	圓山	○	ほぼ計画通りに実施できた	継続
			○		
			○		
			○		
	空調等	小林	○	・計画通りに実施できた。エアコンはステッカーを張り、設定温度を毎日確認している。	継続
○					
○					
工場・事務所	社長	○	・デマンドコントロールの導入・実施 ・照明設備の省エネは「間引き」と高効率照明の導入・実施 ・製造工程の見直しは、現在取組の優先工程を選定中 ・不良品の削減は、検討課題を抽出中 ・新電力の検討	継続	
		○			
		○			
		○			
	専務	○			
		△			
		○			
		△			
		△			

水使用量の削減	洗車時の節水	岡本	○		継続
	水もれ点検の実施		○		
廃棄物の削減	コピー用紙の両面使用	鈴木	○	分別の徹底	継続
	封筒などの再利用		○		
	廃油(作動油)の削減		△		
リサイクルの推進	金属端材の再利用率向上	専務	○	・金属端材の自社再使用は検討が必要	継続
	通函の延命化の検討		○		
	廃パレット(木材)のリサイクル		○		
グリーン購入	グリーン購入の実績把握	圭子	○	優先的にエコ商品を購入しているが、コピー用紙は価格面で従来品を購入	継続
	グリーン商品の優先購入		○		
クレームの削減	寸法不良削減の検討	社長	○	刃物・工具の重点管理	継続(今後重点項目に設定)
	見える化の実施		—		
備考	<p>1) 取組期間の評価は平成27年9月～8月の12ヶ月間の実績評価である。</p> <p>2) 評価判定は○・△・×の3段階で行なった。</p>				



## VI 環境目標の実績

前年同期実績をベースに、運用期間(平成27年9月～8月)の実績・評価を以下に示す。

項目	単位	H26年度 基準	H27年度 目標	H27年度 実績	比率	評価	
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	53,281	-2%	50,691	-4.8%	○	
			52,215				
	電力	kWh	72,711	-2%	69,458	-4.5%	○
				71,257			
	ガソリン	L	4,102	-2%	4,722	+15%	×
				4,020			
軽油	L	1,178	-2%	1,062	-10%	○	
			1,154				
灯油	L	775	-5%	0	-97%	○	
			736				
LPガス	kg	66	-1%	48	-27%	○	
			65				
廃棄物排出量	産業廃棄物	t	4.7	-5%	2.4	-48%	○
				4.5			
	一般廃棄物	kg	—	現状把握	0.3	—	○
水使用量	m <sup>3</sup>	208	-2%	186	-10%	○	
			204				
グリーン購入(事務用品)	%	—	現状把握	購入額の 30%	—	○	
クレーム	件	5	4	4	—	○	

### <原因分析>

- 1) 「ガソリン使用量」の増加は、遠方の顧客および仕事量が増えたことが一番の要因である。  
 今後環境効率指標の併用を検討する。  
 ・軽トラックの使用頻度増加

### <是正>

28年度の使用量をみて、目標値を再度検討する。

# VII 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価結果並びに違反、訴訟等の有無

## 1. 環境関連法規等の遵守状況

当社に適用される環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

評価日 平成29年2月28日

評価者 環境管理責任者 遠藤 優輝

法律・条例	遵守事項または規制基準	当社の適用及び対応	遵守評価
騒音規制法 静岡県生活環境の保全等に関する 条例	特定施設の届出	特定施設の届出	○
		コンプレッサー 3台	
	届出内容の変更有無	変更無し	○
	規制基準値の遵守	騒音の測定(市及び自主検査)	○
振動規制法 静岡県生活環境の保全等に関する 条例	特定施設の届出	特定施設の届出	○
	届出内容の変更有無	変更無し	○
浄化槽法	維持管理基準の遵守	維持管理契約の締結	対象外
		保守点検の実施	対象外
		定期清掃の実施	対象外
		法定検査の実施(1回/年)	対象外
循環型社会形成推進基本法	廃棄物の3R及び適正処理の推進	廃棄物の分別、行政への協力	○
廃棄物処理法	事業系一般廃棄物の処理	市条例の収集・処理基準の遵守	○
	産業廃棄物の保管	保管基準の遵守、保管場所の表示	○
	産業廃棄物の委託処理	処理業者と契約書の締結	○
	マニフェスト管理	マニフェストの交付、保管	○
		D,E票の期間内返却	○
	マニフェスト交付状況の知事報告	6/30までに報告書提出	○
静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	委託先の現地確認と記録の保存	現地確認記録の保管	○
家電リサイクル法	指定家電の廃棄時	リサイクル料金の支払(廃棄時)	該当なし
自動車リサイクル法	自動車の廃車時	リサイクル料金の支払(廃車時)	該当なし
リサイクル法	適正廃棄	パソコン、二次電池廃棄時	該当なし
資源有効利用促進法	指定再資源化製品のリサイクルへの協力	メーカー回収への協力(パソコン、小型二次電池等の廃棄時)	○
環境基本法	自主努力義務、行政への協力	EA21の取組	○
地球温暖化対策推進法	自主努力義務、行政への協力	EA21の取組	○
省エネ法	省エネの自主努力	省エネ型モーターへの切替え	○
消 防 法	少量危険物の保管	消防署への届出	○
	火災予防	消火設備の定期点検	○
フロン回収・破壊法	エアコン・冷凍(冷蔵)機器の廃棄時	フロン回収業者への引き渡し	該当なし
その他	明電舎 グリーン調達基準	RoHS適合材料の使用及び適合 製品の納入	○

## 2. 違反、訴訟等の有無

当社に対し関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟は過去3年間ありませんでした

## IX 代表者による全体評価と見直し結果

平成27年度の取組について、期間中の環境目標の達成状況及び環境活動計画の実施状況等について評価を行なった。

その結果、ガソリン使用量は目標未達成であったが、全体的には良い結果が得られた。

システムの有効性・取組の適切性・目標の妥当性があると判断する。

環境方針・目標・計画については継続するとした。

今後については、使用量の多い電力について新電力の検討。産業廃棄物については、混合廃棄物の削減を検討していきたい。

エコアクション21の取組が、企業にとって重要なものであるので、今後も継続して活動していきたい。

平成29年2月28日

有限会社 トーシン

代表取締役社長 遠藤 真弘

# 環境上の緊急対策

## 〈緊急時対策〉

想定される環境に於ける緊急事態について、環境への影響を最小限に食い止めること・内外への連絡を円滑に行うこと・可能な範囲で事前に想定、準備すること。また、定期的にその訓練を行う。  
更に、緊急事態の発生や、訓練の後、対応の評価と改善策を行う。

想定のパターン	想定される緊急事態	原因	対応策
パターン 1	配線・機械基盤からの出火	漏電	漏電ブレーカーの点検  消火器の設置場所の確認
パターン 2	廃油のドラムの転倒による漏洩	地震等によるキャップ外れ	・吸着マットの設置 ・閉め忘れ防止 ・地震時の行動計画確認

訓練日	想定される緊急時の状況	原因	対処・訓練等
2017/1/20	廃油ドラムの転倒	地震	・整理・整頓の確認 ・閉め忘れ防止・確認
参加者		全社員	
※評価と改善策 ドラム周辺は日常的に整理・清掃は心がけている フタの閉め忘れについて、確認を徹底させるため、指差し確認なども行った			

# 環境コミュニケーション受付表

作成・管理担当:

NO.	情報 入手日	情報 種類	通報者	通報方法	住所	内容	回答の 必要性	対応内容
					連絡先			
1	/	対策・苦情		電話・メール				
2	/	対策・苦情						
3	/	対策・苦情						
4	/	対策・苦情						
5	/	対策・苦情		電話・メール ( )			必要・不要	

クレームなし

# 問題の是正及び予防処置

記録日 H27 2/28  
担当者 遠藤 優輝

	日付	対象項目	原因	是正及び予防処置
1	2/28	ガソリン目標未達成	「ガソリン使用量」の増加は、遠方の顧客および仕事量が増えたことが一番の要因である。	28年度の使用量をみて、目標値を再度検討する。
2				
3				
4				
5				